

## 色水入り水ふうせんで描こう

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イメージはもっているが、自発的な動きの少ない児童が、描きたいものを表現できる。</li> <li>○水ふうせんが割れると、絵の具が飛び散って、花火のような模様を描くことができる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スイッチをつなげたピッチングマシーンで水ふうせんを投げ、水ふうせんが割れると紙に色が付くようにした。</li> <li>○シャボン液、水のり、絵の具を混ぜて、液をべったりさせて、紙に確実に彩色できるようにした。</li> </ul>



## 自作ツリーチャイム～夏～

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○素材の感触や音を感じて、自分で指先を動かしてみたいという意欲を引き出す。</li> <li>○貝殻などの夏の季節を感じられる素材を使って、季節に対して興味をもつ。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日頃の学習で、一年の季節の移り変わりを絵本等で学習している。「七夕」「星」なども学習に取り上げており、教材をとおして、夏という季節に対して興味をもつきっかけになるようにした。</li> </ul>



## ねらって倒そう！

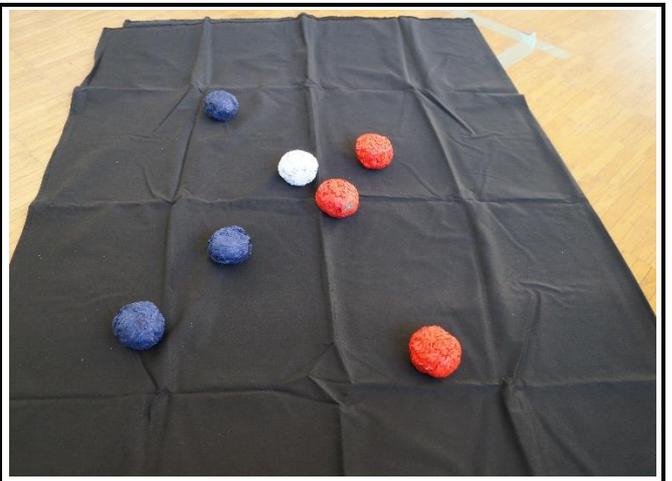
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピッチングマシーンでねらいをつけて、スイッチを押すと、ボールが飛んで、ねらった人形を倒すことができる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視線入力装置への導入学習として行った。この学習を行ったことで、視線入力装置を用いた学習にスムーズに移行できた。</li> <li>○好きなキャラクターを用いることによって、学習に意欲がもてるようにした。</li> <li>○教師と一緒に数を数えたり、数を確認したりしながら、学習に取り組めるようにした。</li> </ul>



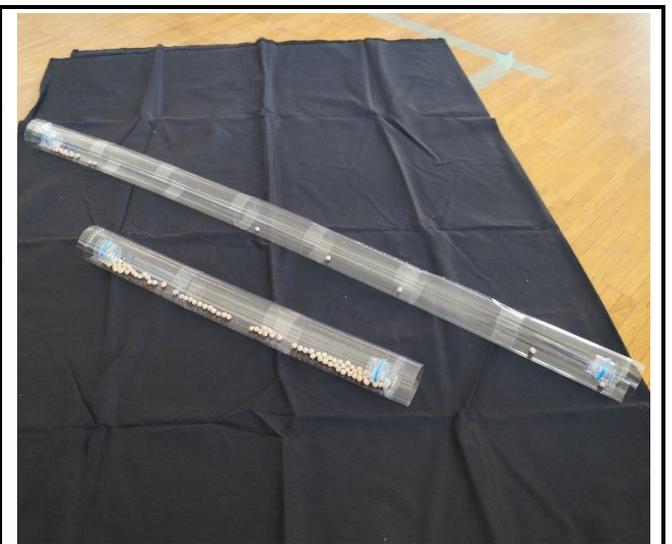
移動式玉入れ	
ねらい	○自分で具体物を操作することで、音声や記号としての数と、量としての数につながりがもてるようになることをねらって制作した。
特徴	○以前教材紹介で見た玉入れを参考にして、各筒が移動できるようにした。児童の実態に合わせて同じ数の筒を複数用意したり、場所を入れ替えて提示したりすることができる。



軽いボールのポッチャ	
ねらい	○本物のポッチャのボールが重くて投げられない児童でも、自分の力で投げたり転がしたりできるように制作した。
特徴	○ボールの軽量化のため、色画用紙をシュレッダーで裁断し、裁断したものに洗濯のりを混ぜ成形し、数日乾かして軽い玉を作った。完全に球形にはならないが、その子に合わせて、重さや形を変えることができる。



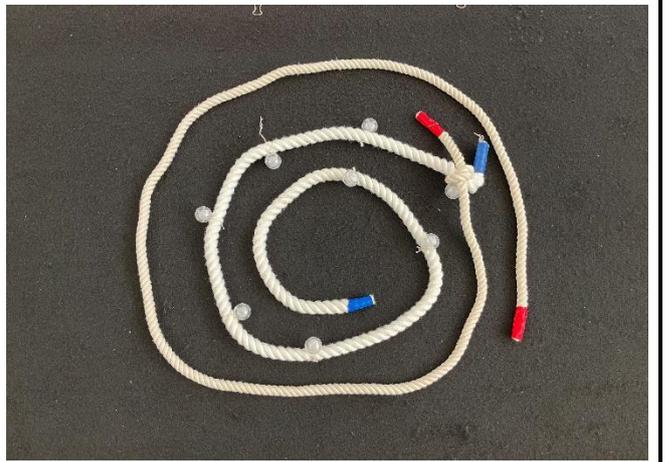
中身が見えるレインスティック	
ねらい	○音に加えて、見て楽しむ、音を長く聴く、教師や友だちとやりとりをする児童のために制作した。
特徴	○ストレートタイプのペットボトルをつなぎ合わせた。はさみで加工でき、簡単に作れる。 ○筒の中身を簡単に入れ替えられる。 ○たくさんつなげると、長く音を楽しめる。 ○筒を傾け、筒の中身を行ったり来たりさせることで、友だちや教師とやりとりができる。



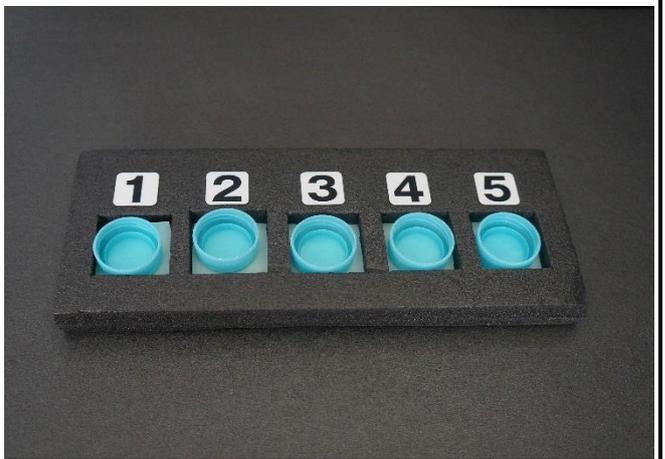
回るレインボースティック	
ねらい	○レインボースティックを自力で動かすことが難しい児童が、レインボースティックを楽しむことができるよう作製した。
特徴	○スイッチを使ってレインボースティックを回すことができるように、100円ショップで購入した扇風機とレインボースティックを合体させた。 ○BDアダプターを使うことで、外部スイッチと繋げることができる。



音が鳴るロープ	
ねらい	○ものに対して、手を伸ばす、触れて感触を確かめる、握る、握りながら振るなど、手を使う楽しさを感じる。
特徴	○握りやすいように、適度な太さのロープを用いた。 ○振ると音が鳴るように、手芸屋さんで売っているプラスチック製の鈴を、たこ糸で付けた。 ○ぶら下げたり、みんなで輪になって楽しんだりできるように、ロープをつなげて長めにした。



順番に入れてみよう	
ねらい	○ペットボトルキャップをリサイクルするときに、順番を意識しながら入れられるようにする。
特徴	○色のコントラストをはっきりさせ、仕切りをつけ、1つ1つを意識しやすいようにした。 ○数の部分は両面テープで止めて剥がせるようにして、横向きだけでなく、縦向きでも使えるようにした。



## 打鍵機 (ソレノイド)

ね  
ら  
い

○腕を動かして叩くという動作が難しい児童生徒も、自分で打楽器(太鼓、シロフォン等)を鳴らすことができる。軽いスイッチであれば押すことも可能。

特  
徴

○単3電池4本とやや重く、安定しているので打面に載せるだけで使うことができる。浮かせて使いたいときもクリップアームでつかみやすいサイズになっている。



## CD ラジカセ (外部スイッチ)

ね  
ら  
い

○児童生徒が自分の好きな曲を聴いたり、朝の会などで曲をかける係を担当したりできるように、再生/一時停止を外部スイッチにつなげられるようにした。

特  
徴

○スイッチ操作で曲が再生/一時停止するので、働きかけと環境変化の因果関係を理解しやすい。また係の仕事など社会性を育むこともできるし、一人遊びの一つとして余暇活動獲得につなげることもできる。ラッチタイマーと併用すれば活動の幅が広がる。



## どこでもスヌーズレン BOX

ね  
ら  
い

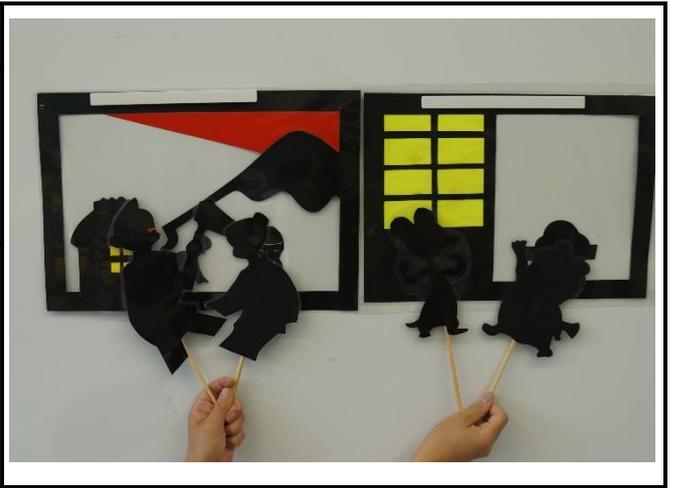
○いつでもどこでも好きなときにスヌーズレン気分を味わえるように製作した。生徒が自分で光に気づいて楽しめるよう、箱型で机や台に置いて使用できるサイズにした。

特  
徴

○光る教材はマジックテープやS字フック等で取り付けてあるため取り外し可能。生徒の好みに合わせて教材を変え、色々なバリエーションで使うことができるようにした。



影絵でお話を見聞きしよう	
ねらい	○視力の弱い子が、コントラストや色の変化に気付いたり、物語の場面を理解したりして、気付いたことや感じたことを表す。
特徴	○ペーパーサートに絵はあえて入れずに、コントラストがはっきりわかるようにした。 ○白と黒を基調にしなが、カラーセロファンを用いることにより、セロファンを透かして見て、色や色の変化を楽しめるようにした。



季節を感じて、数を数えよう	
ねらい	○視力の弱い児童が、季節ごとに違う筒を持ち、教師と一緒に振って音を出したり、一緒に筒を数えたりしながら、季節を感じ、数に興味をもつことができる。
特徴	○プラスチックの筒をカットして、児童が持ちやすいサイズにした。 ○季節ごとに筒に入れる豆を変え、見た目や音の変化で、季節の変化を感じられるようにした。



仲間分けをしよう	
ねらい	○ねらったところに物を入れることができる児童が、好きなキャラクターに親しみながら、仲間分けをすることができる。
特徴	○市販されている透明ケースを用いて、簡単に制作できるようにした。 ○3つの仲間分けが難しければ、真ん中を空けて、2つの仲間分けにするなど、児童の実態に応じて、変えられるようにした。



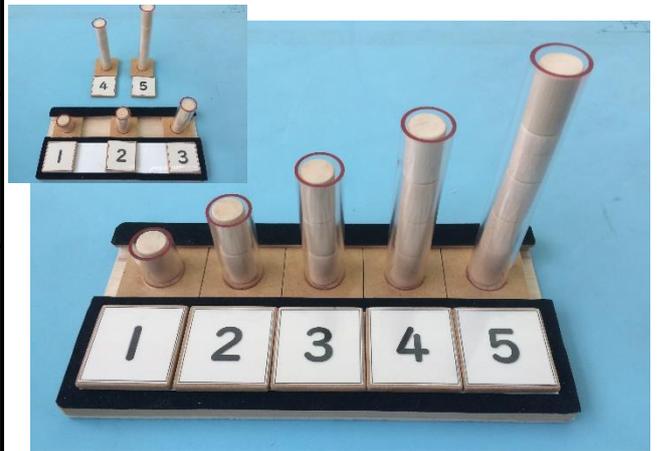
「ごじゅーおん」用キーガード	
ね ら い	○ひらがなの学習を進めている児童が、iPad のアプリ「ごじゅーおん」で文字を入力する際の誤入力を軽減することをねらいに作成した。
特 徴	○穴が空いている部分は触れても反応しないため、不随意な筋緊張による誤入力を軽減できる。 ○2mm厚の透明テーブルマットをカットし、穴あけて作成した。



iPad「ごじゅーおん」に装着した様子



円柱入れ 1～5	
ね ら い	○1～5までの数を数えること、量としての数と記号としての数(音声や数字)につながりを感じることをねらいに製作した。
特 徴	○筒が移動できるようになっており、児童生徒の実態に応じて1～5までの数を設定することができる。



iPad用コントローラー&スピーカー 選んで聴こう ○△□	
ね ら い	○歌を聴くことが好きな児童が、スイッチの形を手がかりに曲を選んで聴くことができるようになることをねらいに製作した。
特 徴	○Keynoteで作成した教材をiPadのスイッチコントロール機能を利用して、改造Bluetoothキーボードをインターフェイスとし、接続したスイッチを操作することで音楽を選んで聴くことができる。 ○加工したファイルケースにBluetoothスピーカー、改造Bluetoothキーボード、スイッチを内蔵し、iPadを遠隔で操作できるため、多少乱暴に扱ってもiPadが故障する心配がない。



ミニシアター「かえるのうた」	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○視線を大きく動かすことが難しい児童が、注視したり、追視したりする。</li> <li>○歌を聴くだけでなく、「かえるのうた」の世界を楽しみながら、感じたことを表現する。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ベッドサイドで使用できるように、A4サイズにして、児童の視界で捉えられるようにした。</li> <li>○かえるの裏につけた磁石でかえるを動かしたり、舞台を光らせたりして、注意が向くようにした。</li> </ul>



セロファンあそびで塗ってみよう	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○セロファンをクシャクシャさせる音を聴いたり、セロファンを透かして見たりして遊びながら、自分から手を伸ばして、素材にかかわる力を育てる。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○丸めると大きい音がしたり、透かして見ると、視覚の変化が大きかったりするように、セロファンの素材の特徴を生かした。</li> <li>○遊んだセロファンを貼ったり、台紙に色を塗ったりして、遊びながら作品ができるようにした。</li> </ul>



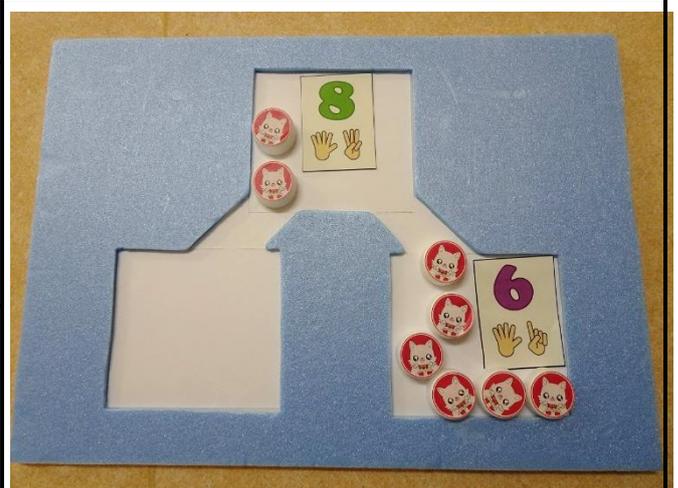
あじさいを作ろう	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ザラザラした素材に触れたり、素材をキャンバスにして、教師と一緒に刷毛で色を塗ったりして楽しみながら、手元を見たり、自分で手を動かしたりする。</li> </ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不織布のエプロンをキャンバスにして、素材に触れたり、素材に直接描いたりできるようにした。</li> <li>○あじさいの中身は、新聞紙を教師と一緒に破って丸めたりしたものを用いて、有効利用した。</li> </ul>



節分 パネルシアター	
ねらい	○パネルシアターにすることで、物語を音声で読まなくても、児童自ら動かして物語を進めていくこと。
特徴	○「節分のお話」に合わせて、児童自らキャラクターなどを登場させて貼っていくことができる。 ○表情については、笑顔の絵も用意することで、変化を見て感じるすることができる。



合成 分解	
ねらい	○動かす具体物を、児童の好きなキャラクターにすることで、楽しんで活動に取り組むこと。 ○空間を分けることで、視覚的に残りの数を導けること。
特徴	○児童が飽きてしまったら、キャラクターを変えるなどして工夫することができる。 ○数字は、児童が音声でも指でも表現できるように、指の数が表現されているものを使用している。



遊びボード	
ねらい	○カーペットでごろごろしているときや、あぐら座位のときに自分から手を伸ばしたり、姿勢変換をしたりして働きかけることをねらった。
特徴	○仰臥位や側臥位、あぐら座位の姿勢で働きかけやすいようにボードに角度が付いている。 ○マジックテープでそのときに好きな玩具に変えながら使うことができる。



## メロディビーズ引き

ね  
ら  
い

○ビーズを引くと好きなメロディが流れることで、ビーズを引く動機付けにしたり、終わりを分かりやすくしたりすることをねらった。

特  
徴

○ビーズ引きに紐スイッチをつなぎ、最後までビーズを引くとおにぎりVOCAからメロディが流れるようにした。

